

2020年を振り返って…

当会にとっての2020年、それは大きな変化の年でした。新会長就任と共に、特別顧問・名誉会長を迎え新しい時代への入り口をつくることができました。新型コロナウイルスの影響を受けながらも進み続けた今年を振り返ります。

就任あいさつ

いつの間にか

新潟市南商工振興会会長
山口 浩二

謹啓 金木犀の甘く爽やかな香りが漂いはじめました。その香りがもつ存在感のように、皆様におかれましてはますます活気溢れていらっしゃるかと拝察いたしております。平素は格別のご高配を賜わり誠に有難く厚く御礼申し上げます。

さて、私儀3月4日の第40回定期総会（書面審議）におきまして会長に就任いたしました。謹んでご報告いたします。

これからは、村尾建治前会長の後を受け、新潟市南商工振興会のこれまで歩んできた道と、これからのゆく道を会員の皆様と共に考え行動してまいります。

振り返ってみれば私が直接当会に関わるようになったのは、1997年のスプリングフェスティバルからです。光のページェントの実行委員長を降りる頃から理事メンバーに入り、気が付けば「いつの間にか」副会長職の任命を受けていました。今回も「いつの間にか」外堀を埋められ、村尾前会長から「次は、山口君だよ」と、優しい笑顔で言われるままに拝命させていただきました。当会も40周年の節目の年、東京五輪・パラリンピックは延期になりましたが、福岡で生まれ育って、そして新潟に来て30年になります。「いつの間にか」この新潟の方が長くなり、当



会をはじめ知人の方々には新潟の方が多くなっています。

こんな私が当会の長としてどれだけの事をやれるかは未知数ですが、「地位は人を育てる」と言う言葉がありますし、あくまでも私は野球で言えばクローザーでなく中継ぎ投手、確実に繋いで行きたいと考えます。

過去の当会活動では、新潟駅の高架の提言、駅南地区の通りの名称提言、上所駅新設の提言、今では、鳥屋野潟周辺の開発、周遊道路等々の（端艇、カヌー競技場）提言及び早期着工完成!を掲げ、足を止めることなく前進しております。当会はお祭り集団でなく政策集団としてイベントを通して地域の発展、啓発に努めてきました。

イベントも春のスプリングフェスティバル、夏秋のとやの物語、冬の光のページェントと、これらのイベントも助成金で何とかしのいできましたが、行政側もなかなか今まで通りには行かなくなってきました。先行きも不透明です。そこで当

会でもNPOや一般社団法人を立ち上げて、その中で運営出来るような仕組みを作っていきたいと考えております。ここが私の長としての役割かなと思っております。

今は新型コロナウイルス対策を取りながらの当会の行事を役員や皆様と深く考えながら続けておりますが、いろいろな会が中止、延期ばかりでは経済回りません!なんとか工夫をすることで、各自各社の真価が試されるのではないのでしょうか?ご努力を存分に発揮し「ONE TEAM」で乗り切っていきましょう!!

最後になりますが、皆様方の尚一層のご健勝とご多幸、各社様のご発展を祈念申し上げますと共に、この新潟市南商工振興会の活動にご理解とご協力をお願い申し上げます。

略儀乍ら書中を以って御礼旁々ご挨拶申し上げます。

謹白

